

美しい式番街 (No. 39, 平成 16 年 2 月 23 日)

コープ野村南流山式番街管理組合・保全専門委員会

エレベーターの新しい機能について

昨年12月1日、皆様のご協力によりましてエレベーター・リニューアル工事を無事に終えることができました。ありがとうございます。本号ではエレベーターの新しい機能について紹介します。

■ ゆっくりボタン

1階、4階、6階、8階のエレベーターの乗場の操作パネルの下側の操作ボタン、それからカゴ内に新設されたゆっくりかご操作盤がゆっくりボタンです。これまでと同様の位置にある操作ボタンを押すとエレベーターの扉が開ききってから閉まり始めるまでの時間は約4秒となりますが、これらの新設されたボタンを使いますと、約8秒となり、体の不自由な方、妊婦さんやお年寄りが余裕をもって乗り降りすることができます。



■ 安全対策

目に見えない部分ですが、安全対策が強化されています。地震時、停電時にエレベーターに乗り合わせることもあります。エレベーターがどのような動きをするか、ご一読ください。

項目	概要
地震時管制運転装置	<p>地震を感知すると運転中のエレベーターを速やかに最寄階に停止させ、乗客の安全を確保し、エレベーターと建物の無用な損壊を防止します。地震の強さによって動作および地震後の運転が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">●「特低」・・・80gal(おおよそ震度 3 程度) エレベーターは一旦最寄階に自動的に停止し、扉が開きます。戸開後一定時間経過した後扉が閉まり、エレベーターは休止状態になります。その後より大きな揺れがなければ所定時間後平常運転に戻ります。●「低」・・・120gal(おおよそ震度 4 程度) エレベーターを最寄階に停止させ乗客を避難させた上で休止状態といたします。「低」が動作した場合、エレベーターを平常運転に復帰させるためには、技術員の点検や安全確認をした後に感知器を手動リセットする必要があります。その間は、エレベーターの運転はできません。●「高」・・・150gal(おおよそ震度 4 以上) 「高」が動作した場合は「低」と同様の動きをします。但し「高」の場合には、停電が発生したときでも利用者、機器保護の為停電時自動着床装置は動作しません。

項目	概要
	【注意】大地震ではエレベータを設置しているすべての建物が同様の状態となり、復旧までに時間がかかることとなります。ご了解ください。
停電時自動着床装置	停電または電源の遮断器が作動した場合、エレベータは運転中でも停止します。電源が遮断され、エレベーター停止後 15 秒～20 秒経過しますと、機械室に設けられたバッテリー電源に切換えて自動的に低速運転で最寄階へ着床させ、扉を開き運転を休止いたします。電源が復旧すれば、自動的に平常運転に戻ります。
最寄階低速自動運転機能	何らかの異常で階と階の中間に停止した場合、自動的に安全を確認し、エレベーターを動かしても差し支えないと判断した時、最寄階まで低速で走行させ扉を開きます。異常状態が継続している場合は乗場及びかご内から操作はできません。速やかにかごから出てください。
戸開異常時次階走行機能	戸を開く動作で敷居部に異物が挟まるなど異常を検出した場合、戸開動作を中断して戸閉め動作に移行させ、戸開可能階まで走行し扉を開きます。2 回連続して戸開異常を検出した場合、乗場及びかご呼びが登録できなくなり、エレベーターのご利用ができません。
戸過負荷検出機能	戸開閉動作時に扉に物が挟まれるなど過負荷を検出した場合、戸閉め動作中であれば反転戸開し、戸開動作中であれば反転戸閉めを行い、挟まれ事故を防止します。
気配りアナウンス	エレベーターの運転状況に合わせてアナウンスを行い、利用者にお知らせします。(例:「満員です。後からお乗りの方はお降りください。」)
遠隔監視装置	エレベータの運行は三菱電機ビルテクノサービス(株)の情報センターで 24 時間 365 日異常の有無が監視されています。主な項目として、かご内への閉じ込めの発生、エレベータの使用不能状況、機器の故障通報、戸開閉不良状況などがあります。 また、閉じ込め、使用不能の状況に対しては発報後 1 分程度で情報センターとかご内のインターフォンを通して直接通話ができます。 ◎ エレベータかご内のインターフォンは直接、情報センターと接続されています。
遠隔診断	深夜など閑散時間帯に、通常の運転モードから「診断運転モード」に移行し、遠隔で高精度、高密度な診断を実施します。なお、診断運転中はエレベーターが無人運転しますが、故障ではありません。